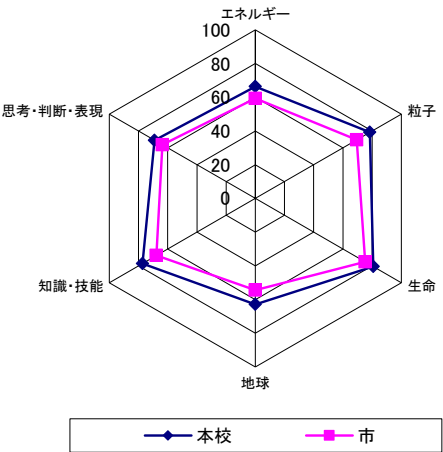


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	66.4	59.3	62.1
	粒子	78.4	69.5	66.8
	生命	80.8	75.2	70.9
	地球	62.9	54.4	52.0
観点別	知識・技能	77.3	67.7	67.2
	思考・判断・表現	69.1	63.7	60.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	平均正答率は66.4%で市平均より7.1ポイント高かった。 ○紙テープの打点の間隔の変化から、速さの変化を考える問題については正答率92.4%と高かった。 ●磁力線についての問題では市平均を上回ったものの正答率37.3%と低かった。	・引き続き実験・観察の結果から考察する時間を十分に確保し、思考力を高める。 ・多くの計算問題に取り組ませることで、計算に対する苦手意識を無くしていく。
粒子	平均正答率は78.4%で市平均より8.9ポイント高かった。 ○化学反応式の記述のしかたの問題では、正答率70.8%と市平均を20ポイント近く上回った。 ●塩化銅水溶液を電気分解についての問題では、市平均を大きく上回ったものの正答率58.4%と低かった。	・引き続き実験・観察の結果から考察する時間を十分に確保し、思考力を高める。 ・化学式、イオンの化学式、化学反応式など基礎基本が定着してきているので、引き続き小テストやAIDリルに取り組ませる。
生命	平均正答率は80.8%で市平均より5.6ポイント高かった。 ○減数分裂についての問題では、正答率84.3%と市平均を大きく上回った。 ●白血球についての問題では、正答率68.6%と市平均を2.5ポイント下回った。	・引き続き体細胞分裂と減数分裂について、視覚的情報を活用し、知識を定着させていく。 ・血液の成分とはたらきについても、視覚的情報を活用し、知識を定着させていく。
地球	平均正答率は62.9%で市平均より8.5ポイント高かった。 ○火山については、どの問題も市平均より10ポイント以上高かった。 ●ポンプを動かして水がくみ上げられた理由を記述させる問題については、市平均を上回ったものの正答率18.4%と低かった。	・既に学習してことを論理的に考え、自分の言葉で文章化する力を高める。 ・多くの計算問題に取り組ませることで、計算に対する苦手意識を無くしていく。